

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス PULUS YOU marilyn			
○保護者評価実施期間	令和 7年 6月 2日		～	令和年 6月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○従業者評価実施期間	令和 7年 6月 2日		～	令和7年 6月 30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数)	4名
○事業者向け自己評価表作成日	7年 7月 15日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	基本的に個別対応をしています。その為、小集団活動に置いてても個々の苦手とする場面で支援を提供する事ができること。	活動内容を分かりやすく写真やカードで表示しています。また個々の児童課題を細分化し小さな「できた」を増やせるように心掛けています。	定期的な研修と情報交換をする事でチーム全体の質を上げていく。
2	落ち着いた空間で視知覚トレーニングを提供しています。繰り返しトレーニングを重ねることで文字を書いたり黒板の板書、聞き取る力を引き出すことに繋がっていること。	児童のやる気を引き出すことに力を入れています。否定や×をせずに、日々の基本トレーニングに励む姿を褒め、励ましています。トレーニングを積み重ねる中で自ら間違えに気付いたり、直そうとする気持ちを引き出せるようにしています。	動画やプロジェクターなどの機材を使い視覚や聴覚からの情報力のアップを目指していく。
3	基本的な挨拶やマナーを教えています。毎回決まった挨拶やマナーを練習する事で成果が出やすいこと。	一対一で支援員と同じ動きをする練習と保護者様と協力した練習を取り入れています。同時に身体の部位や物の名前を正しい言葉で伝えマッチングを深めています。	アセスメントを充実させ、個々の特性にあった支援課題を提供できるようにしていく。そして、保護者様に分かりやすく説明し引き続き安心してご利用して頂けるようにしていく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母会の活動支援や保護者会の開催などにより保護者同士の交流が設けられるなどの家族への支援体制が弱いこと。	保護者様のご協力もあり毎回振り返りに参加して頂き、保護者同士の交流がありますが、利用回数がまだ少ない為、保護者会の日程調整が難しい。	保護者様のニーズをアンケート形式で把握する。ニーズに合わせて保護者同士の交流を広げ、兄弟や家族へ向けての支援へと発展させていく。(見学会・月イベント参加の周知)
2	放課後児童クラブや児童館との交流、地域の他の子どもと活動する機会が設けられていないこと。	開所間もない事もあり保護者様のニーズを把握しきれていない。	保護者様のご希望や意見を把握し、どのような形で交流が可能か検討していく。
3	事業所で非常災害訓練や避難訓練等を実施しているが、周知されていないことがある。	1週間を通してどのお子様も参加できるようにしていますが、新規の利用児童で欠席した場合に、周知が遅れてしまう。(新規契約時にご説明をしています。)	年間を通して掲示物でお知らせをしていますが、気付きづらいようです。もっと分かりやすい位置に掲示していく。また訓練実施後に掲示板に写真を貼り周知していく。参加児童については、引き続き個別にHUGUシステムで写真と訓練時の様子を伝えていきます。